

令和元年度自己評価書及び学校関係者評価書

42001

市立札幌新川高等学校

1 本年度の重点

- 個に応じた教育を推進し、確かな学力の定着を図る。
- キャリア教育を推進し、自ら意欲的に進路実現を目指す生徒の育成を図る。
- 国際教育を推進し、国際性豊かな生徒の育成を図る。
- 学習と部活動を両立させ、心身ともに調和のとれた生徒の育成を図る。

2 本年度の経営方針

- 校内組織の連携強化を図り、円滑な学校運営に努める。
- 魅力ある、信頼される学校づくりのために協働して学校運営に努める。
- 進学型キャリア教育の充実・発展のため学校環境や条件整備に努める。
- 生徒の「学ぶ力」を育成するため、主体的・対話的で深い学びの視点から授業の工夫
- 家庭・地域への情報発信及び意見の収集を積極的に図り、学校と家庭・地域社会が一体となった生徒支援に努める

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
全体	新川高校での高校生活は、全般的に満足できるものである。	A	学校行事についての満足度は高く、また、課外活動・ボランティア活動への参加も多かった。今後も学校生活における充実感をより高めることができるよう、一人ひとりの生徒に寄り添った指導に取り組む。	A	A
	新川高校は、教育方針(教育目標)を日々の教育に生かしている。	B	教職員の共通理解が進み達成状況は昨年度より高まっている。より一層の教育方針・目標を意識した教育活動を進めていく。		
	学校教育目標を達成するために、学校の特色を踏まえた教育課程を編成している。	D	新しい委員会を立ち上げ、生徒の特色や実態を把握しながら、本校が目指す生徒像を明確化した上で検討を進めている。変化の激しい社会に対応できる教育課程の検討や編成に全教職員で取り組む。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の努力に対し生徒たちが期待に応え力がついていることは高く評価できる。今後、生徒たちが激動する社会情勢に向かうための「考える力」「生きる力」を醸成できるような教育を望む。 ・各学年、各クラスの生徒たちの実態を再確認し、個々の生徒たちに合うカスタムメイドの教育ができればと思う。 ・令和4年度から始まる新学習指導要領に向けて取り組んでいることと思う。「フロンティア・エリア制」は、子どもたちの学力だけではなく、人間力を育てる上で非常に魅力を感じます。 			
学習指導		B	昨年度より評価は高くなっている。より一層、生徒の満足度が高まる授業改善に向け、教員による研修への参加や機会の充実を推進し授業内容の向上を目指す。	A	B
	授業は、内容が充実しており生徒は満足している。	B			
	生徒の家庭学習時間(予習・復習)は十分確保され、授業に臨むことができている。	D			
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の確保は、生徒自身の気づきと時間を生み出す工夫が重要と思われる。家庭内での過ごし方は、家庭の協力も必要であり、教職員の努力にも限界がある。生徒たちは「考える力」を身に付けられるよう期待したい。 ・生徒の家庭学習時間の確保等は、学校の指導だけではなく家庭による保護者の指導協力も必要である。 ・生徒一人一人の考え方が、学習時間や意欲に直結しているの、何が響くか(行動に移させることができるか)難しいところもある。保護者に言われるより、先生方に言われる言葉のほうが生徒たちにはストレートに届くものだと思う。 			
生徒指導	全教職員が共通理解のもと生徒指導にあたっている。	C	社会の中でも性差や、SNSの利用など価値観が多様化してきている。教職員内で共通理解を図りながら指導するよう取り組む。	B	A
	生徒指導は、正しい礼儀や規律ある生活が送れるよう指導されている。	A	校外での活動を通じて、外部の方からも好評価を頂いている。さらに、卒業後にも社会人として自立できる生徒になれるよう指導や相談活動を充実させていく必要がある。		
	自転車マナー指導・登下校指導等、交通安全指導が適切に行われている。	A	交通安全講習や、毎朝の登校指導が校内外で評価されているが、並走やスマホを見ながらの自転車走行などの指摘もあり、継続的に指導を行っていく必要がある。		
	学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導は教職員が人間として生徒と向き合う大変な作業であり、教職員の努力は高く評価できる。今後は、進学・就職など生徒たちの進路は分かれるが、社会人となるための「考える力」を身に付けさせて欲しい。 ・教職員間で生活指導に関わる研修会を開き、情報共有に図り組んでいただきたい。 ・生徒たちには来校者に対し、立ち止まって元気よく挨拶をしていただきたい。 ・挨拶やマナー等、悪い部分で目立つようなことはありません。はきはきとした生徒たちが多い印象で学校からの指導も行き届いていると感じます。 		
評価基準 【自己評価】 A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い ※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満 三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。 【学校関係者評価】 A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切					

	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
進路指導	進路指導は生徒ひとり一人の目標達成に役立つように計画され、推進されている。	A	進路指導部を中心とした学校全体の取り組みが高い評価を得られたものとする。新テトを含め新しい高大接続に対応した進路指導計画の立案とその推進に努めていく。	A	A
	適切なキャリア教育(望ましい職業観・就業観の育成)が計画的に実施された。	C	一人ひとりの進路志望に対応するため、これまでの進路指導が進学に重点を置いてきた。今後も進学後の就業を視野に入れた指導をしていく。		
	長期休業中や放課後に行っている講習は効果的なものである。	B	講習内容の工夫、指導方法の工夫、日程の見直しを図ると同時に、講習の意義・目的を明確にし、生徒の理解と意欲喚起を促していく。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導は生徒自身のキャリアビジョンを見出し共に考える大変な作業であり、学校側の努力には敬意を表する。今後とも従来どおり、生徒たちと向き合いながら、丁寧に指導されることを期待する。 ・生徒たちの将来における就職等のビジョンに通じる進路指導に期待する。 ・校内で行われた学校評価のうち、総合評価の生徒結果を見ると改善は必要と思う。 			
特別活動	学校祭や球技大会等の生徒会行事は生徒にとって満足できるものである。	A	生徒会を中心に各委員会活動が活発に行われ各行事について生徒の満足度は高い。実施後の反省をもとにより満足度の高い行事を実施していく。	A	A
	SHRやLHRは、有効に活用されている。	B	学校行事に対する満足度が特に高い。今後も一人ひとりの生徒が主体的に参加できる計画的なHR活動をより一層進める。		
	部活動と学習を両立させている生徒が多い。	B	部活動・生徒会活動における日常生活は満足している生徒が多い。学習面は部活動休養日の活用も含め、時間の有効活用についての指導が必要と思われる。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・勉学と部活動のバランスの取れた素晴らしい学校であり、教職員の努力と生徒たちの力の賜物。高く評価できる。今後とも魅力ある学校づくりに取り組まれることを希望する。 ・活動を通じて、生徒と教員間の絆をもっともっと深めていただきたい。 ・盛んな部活動や学校祭等、外部から見ても非常に満足度は高いと感じます。 			
健康安全	教育相談・スクールカウンセラーが充分機能している。	A	スクールカウンセラーと、それに連携した教育相談部の情報提供、啓発活動が円滑に機能していた。生徒が安心して学校生活を送れるように、より一層情報共有などを進め、円滑に機能するようにしていく。	A	A
	清掃活動や環境美化に力を入れている。	B	多様性・共生社会への参加という視点も踏まえ、勤労・奉仕的活動への意欲を高め、公共の精神を涵養させる指導を進めていく。		
	来校者や不審者に対する対応(セキュリティチェック)が適切に行われている。	D	生徒玄関ではスクールロック(中から外へ出ることができない)をより活用し、来校者へのチェック体制を含めよりセキュリティの向上に努める。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行う清掃活動に参加していることは高く評価できる。今後とも地域の方々や連携し、活動を継続していただきたい。 ・毎日が安心して安全な環境維持に努めていただきたい。 ・来校者に対するセキュリティチェックが甘く感じます。 			
開かれた学校	生徒・保護者への連絡や情報公開は適切に行われている。	A	学校ホームページをリニューアルし、学校からの情報量も増え、生徒・保護者・教職員による評価は向上した。今後もさらに保護者メール等を併用し情報発信を進めていく。	A	A
	学校のホームページを有効に活用している。	D	学校ホームページの有効活用の数値は改善されている。学校関係者、地域の方、中学生など、より多くの方に見てもらえるwebページとなるよう、より一層改善していく。		
	保護者からの電話対応や来校者に丁寧に対応している。	A	高い評価となっている。保護者や来校者に対し、今後とも丁寧な対応を心がけていく。		
	PTA活動は充実しており、積極的に活動している。	A	学校祭バザーや野菜販売には多くのお手伝いがあり、お客様に好評だった。また、大学訪問も多くの参加があり活発な交流ができた。今後も学校ホームページや保護者メールを活用LPTA活動の活動状況の情報発信や各活動の案内を進めていく。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの有効活用と、特定のPTAやOB・OGといった特定の方だけがみられるように、セキュリティ対策にも取り組んで欲しい。 ・学校ホームページに関しては、今後の取り組みにより期待しています。 			
国際理解	海外研修は学習意欲の向上にや国際理解に役立っている	B	海外研修の意義は理解されていると考える。今年度実施した海外研修のアンケート結果をもとに研修内容を更に工夫し、より良い国際理解教育を模索していきたい。	A	B
	海外研修に参加してみたい(させたい)ですか。	C	費用対効果に優れた企画を提案できるよう関係機関と連携を図るとともに、海外研修への参加啓発活動の充実にも努めたい。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の取り組みは高く評価できる。百聞は一見に如かず。経験した生徒たちの将来に期待したい。 ・助成金が出る海外留学(トビタテ! 留学ジャパン等)についての情報提供をし、生徒たちにはぜひ参加をして欲しい。 ・留学費用は保護者負担が大きいので、補助等の体制など生徒へ情報提供をお願いしたい。 			
【自己評価】 A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い ※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満 三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。 【学校関係者評価】 A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切					